

第6学年1組 学級活動（2）指導案

日 時：令和2年6月〇日 第〇校時

場 所：6年間〇組教室

指導者：担任・栄養教諭

1. 題材

「野菜の働きを知り、もっと食べよう」

学級活動（2）エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

2. 題材について

（1）児童の実態

元気で明るい学年である。6年生のわりには、食の細い子、食べるのに時間のかかる児童が多く見られる。中には、野菜全般が苦手な児童も見られる。嫌いな野菜については、学校では食べるが、家では食べない子がほとんどであることから、自分のために食べているというよりは、たくさん残してはいけないから仕方なく食べているということになる。

（2）題材設定の理由

嗜好調査や日頃の給食の様子から、野菜を苦手とする児童が多い。また、野菜を「我慢して食べる」と言う児童もいるが、中には「嫌いなものは食べない」という児童も見られる。そこで、実験を通し野菜の効用を知り、これからの生活で自分から野菜を食べようとする意欲につなげていきたい。

3. 第5学年及び第6学年の評価規準

| | | | |
|------------------|---|---|---|
| 観 点 | よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能 | 集団の一員としての話合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現 | 主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度 |
| 評 価 規 準 | 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全といった、自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身につけている。 | 自己の生活上の課題に気づき、多様な意見を基に、自ら解決方法を意思決定し、実践している。 | 自己の生活をよりよくするために、他者と協働して自己の生活上の課題に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。 |

4. 事前の指導

| 児童の活動 | 指導上の留意点 | 目指す児童の姿と評価方法 |
|--------------|--|---|
| ・アンケートに記入する。 | ・野菜は好きかどうか、嫌いな野菜があった場合どうするかなどのアンケートを通して、野菜の働きについて考えるようにする。 | ・アンケートを記入し、自分の食生活と野菜の関係について考えることができている。（思考・判断・表現） |

5. 本時のねらい

実験や資料を通して、野菜は体の中で大切な働きをしていることが分かり、食生活を工夫して1日に必要な野菜量を摂取しようという意欲をもつ。

6. 本時の展開

| | 児童の活動 | 指導上の留意点 | | 資料 | 目指す児童の姿と評価方法 |
|-------------------|---|--|---|-----------------------------------|--|
| | | T1 (学級担任) | T2 (学校栄養士) | | |
| 導入 つかむ | 1 野菜アンケートの結果を見て、気付いたことを話し合う。 | <ul style="list-style-type: none"> 野菜アンケートの結果から、野菜について考えられるようにする。 | | 野菜のアンケート結果 | |
| 展開 さぐる 見つける | 2 実験を通して野菜には、野菜にしか含まれていない栄養があることを知る。 3 野菜を食べると、自分の体や歯にとってよいことがたくさんあることを知る。 4 1日に食べる野菜の量を知る。 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">野菜の働きを知り、もっと食べよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> クラスの予想をまとめる。 1日に自分が食べていると思う野菜の量を計量する。 | <ul style="list-style-type: none"> 実験の内容を説明し予想をたてさせる。 実験の結果を交流することで、野菜には野菜にしかない栄養(働き)があることをおさえる。 野菜の栄養(働き)について説明する。特に、野菜に含まれるビタミンCは、出血をおさえる働きがあるため、歯ぐきからの出血をおさえられる。 1日に食べるとよい野菜(350g)を提示する。 | 学習カード インドフェノール溶液 食材 おろし金 | <ul style="list-style-type: none"> 野菜の働きを理解することができる。 【発言】(知識・技能) |
| 終末 決める | 5 1日に必要な野菜を食べるための方法を考える。 6 本時の学習から、自分のめあてや実践方法を決める。 | <ul style="list-style-type: none"> グループ交流で意見を出し合い、全体で発表する。 出された意見をもとに、これからの自分にできそうな方法を選ばせる。 | <ul style="list-style-type: none"> 補足説明をする。 | 加熱前と加熱後のキャベツ | <ul style="list-style-type: none"> 自分にあった実践可能な方法を考えることができる。 【学習カード・発言】(思考・判断・表現) |

7. 事後の指導

関連する教科・・・家庭科「朝食から健康な1日の生活を」

| 児童の活動 | 指導上の留意点 | 目指す児童の姿と評価方法 |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">・自分の決めた方法や実践状況を振り返る。・仲間と取組の様子を交流する。 | <ul style="list-style-type: none">・チェックカードを使って家庭での状況を把握させる。・給食の時間に仲間同士でお互いの取組の様子を認め、励まし合うようにする。 | <ul style="list-style-type: none">・野菜は、自分の健康を保つために大切であることから、自分の決めた方法で継続的に取り組んだり、仲間の取組を参考にしながら方法を見直したりすることができる。【チェックカード・観察】 (主体的に学習する態度) |